

将来に向けてのビジョン 学長 津村春英

本学院は百有余年、聖職者、教育者、産業人などの育成に携わってきました。また、女子の高等教育は戦後の時代の流れに乗って短期大学がこれに当たってきましたが、私たちもその一翼を担ってきたといえるでしょう。引き続き、建学の精神に則り、神と人に仕える人材を輩出いくために、たゆまず自己改革をしていかねばなりません。

大学全入時代と言われて久しい昨今、大学は単に教養、知識、能力を教授するだけでなく、学生サービスがより強く求められています。学生の皆さんの将来展望を共に考え、また、社会的な経験不足を補うための実習体制を強化し、学習、生活支援なども含め、いわゆる面倒見の良い大学が時代の要請でありましょう。

本学では既に幼児教育学科では幼稚園、保育園、施設などでの実習、国際教養学科では企業実習(インターンシップ)、神学専攻では教会実習を実施していますが、ゼミ活動やキャリアセンターの働きなどを通じて、勤務を長く続けることのできる力を養う体制を整え、学生と共に夢を共有する大学でありたいと思います。